

平成18年12月14日

住友生命保険相互会社

2006年の世相を反映した
『創作四字熟語』50編

住友生命保険相互会社（社長 横山 進一）は、2006年の世相を反映し、的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から16年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

17回目を迎える今回は、全国から7,772作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

〔募集概要〕

- 募集期間 2006年10月2日～11月6日
- 有効作品数 7,772作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネット、携帯電話による応募。
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智 氏（歌人）

- 作品応募者の内訳（複数回答）

全 体	男 性	女 性	10代以下	20 代	30 代	40 代	50 代	60代以上	不 祥
7,772	5,145	2,627	523	1,498	1,623	1,441	1,381	1,280	26
100.0	66.2	33.8	6.7	19.3	20.9	18.5	17.8	16.5	0.3

上段＝作品数、下段＝構成比（%）

〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
 - 1) 社会 (耐震強度偽装、いじめ問題、飲酒運転など) 3,221作品(41.4%)
 - 2) 文化・スポーツ (冬季五輪、プロ野球、サッカー、競馬など) 1,663作品(21.4%)
 - 3) 政治 (小泉首相退陣、安倍内閣誕生など) 1,051作品(13.5%)
 - 4) 国際情勢 (北朝鮮核実験、イラク問題など) 685作品(8.8%)
 - 5) 流行・芸能 (メタボリックシンドローム、鍛脳ブームなど) 627作品(8.1%)
 - 6) 経済 (敵対的買収、金利問題、IT企業など) 525作品(6.8%)

〔今年の傾向〕

生活を脅かす事故が多発、求められる安全性

今年最も関心を集めたテーマは「社会」でした。全作品中の4割を超え、それだけ関心をひく問題や事件、事故が多かった年であったといえます。

昨年末に露呈した耐震強度偽装問題は、年明けの証人喚問でもラチがあかず「**住人怒色**」が増しました。エレベーター、ガス湯沸かし器、シュレッダーと続いた機器の不具合に「**器機一喝**」した人も多いのでは。さらに、たった1本のケーブルが切断しただけで、「**首都拘束**」となったのにも驚かされました。「**電子名流**」による情報流出は後を絶たず、裏金を「**火気現金**」するなどの問題も発覚しました。そんな時代の中、情緒と武士道精神による社会規範の回復を訴えた、数学者・藤原正彦氏の『国家の品格』が「**国格評本**」とベストセラーになりました。

6月に始まった民間駐車監視員による駐車違反の取り締まりは、「**駐違一秒**」と強化され、10月にはご当地ナンバープレートで地域振興を狙う「**当地番号**」が登場、マイカー派の人々には気になる話題となりました。一方、各地で飲酒運転による事故が相次ぎ、まさに「**飲果応報**」“飲んだら乗るな、乗るなら飲むな”は鉄則です。

グローバルな活躍が目立ったスポーツ界

スポーツ界では、世界的な大会が多数開催されるなど大変元気な一年でした。

トリノ冬季オリンピックでは、メダル不振と言われた中で、荒川静香選手が“イナバウアー”で見事な「**銀盤反舞**」をみせて念願の金メダルを獲得し、日本中が歓喜に包まれました。

野球では、世界チャンピオンを決定するワールド・ベースボール・クラシック（WBC）が初めて開催されました。序盤にはいろいろとありましたが、決勝で見事キューバを破り世界一の座に輝いた王ジャパンは「**結果王来**」と讃えられました。

6月には、サッカーのワールドカップドイツ大会が開幕し、日本中が注目しました。こちらの方は一次リーグ敗退で「**瞬過蹴闘**」と残念な結果となりましたが、この大会で現役を引退した中田英寿選手の最後の姿には多くの人が感動しました。

同じく、無敗の三冠馬ディープインパクトもフランスの凱旋門賞に挑むも夢かなわず、今年限りで引退を表明しましたが、「**冠馬之勞**」をねぎらってあげたい気持ちです。

ボクシングでは、8月に行われたWBA世界ライトフライ級王座決定戦で、「**親子拳家**」の亀田ファミリーが注目を集めました。

最近では、国内で活躍が目立った選手の多くが「**出世海渡**」しています。来年はプロ野球の松坂大輔、井川慶の両投手をはじめ岩村明憲選手などが大リーグに活躍の場を求め、さらなる飛躍に期待がかかります。

混迷の続く中東情勢、北朝鮮の核実験・・・続く平和への願い

中東では、引き続き民族対立、宗派対立等に起因する争いが絶えない状況の中、陸上自衛隊が任務を終え二年半ぶりにサマワから無事帰還。本当に「**極労様和**」でした。

また、隣国北朝鮮のミサイル発射、核実験の問題には多くの人が関心を寄せましたが、今後の出方などの情報が不足し「**核禍騒揺**」の状態でした。平和への願いは強まるばかりです。

新総理誕生で新たなステージへ

国会では、年明けに偽メール問題が浮上、「**大偽迷文**」が飛び交い混迷しました。

9月には、小泉首相が「**獅子退陣**」、「**美治麗国**」を旗印に安倍晋三内閣が「**晋総開店**」し、初の戦後生まれの総理誕生に多くの期待が寄せられました。

そんな中、先の総選挙で郵政民営化法案に反対した議員の復党が決まる一方で、「**一期当選**」を心配する人々もいるようです。

経済界では敵対的買収、金利が話題に

“いざなぎ”越えということで企業決算は好調なようですが、実感のない「**感無景気**」で生活はまだまだ厳しい状況。ゼロ金利解除となるも依然として「**金利少々**」、預貯金の金利は低いままです。

突然意思表示される「**敵企襲来**」におびえる企業も多い今日この頃。事前に情報入手してインサイダー取引をしたため「**知情証取**」の対象になった人も。グレーゾーン金利も「**高利肅清**」され「**虚業無常**」をしみじみ感じました。コツコツ働くのが一番ですが、“格差社会”も深刻な問題となり、今後は「**上下差憂**」がますます顕著になっていくのでしょうか・・・。

人口問題、教育問題は永遠の課題？

医師不足による「**産無人科**」の地域では、安心・安全に出産することもままならない状態で「**少子恒例**」がすすみ、労働人口は減少傾向。“2007年問題”の大量定年退職者も「**再就団塊**」に突入しましたが、この世代の人達には来春始まる年金分割制度を見据えた「**正妻決意**」も気になるようです。

教育現場では、子ども達が巻き込まれる事件・事故が増え「**帰路整然**」と集団登下校を余儀なくされ、「**逸修科目**」となった履修不足問題や、いじめ問題などまさに「**七難学苦**」の状態です。

脳を鍛え、知識を試す「検定」ブーム、メタボリックシンドロームも

今年は、“脳を鍛える”と銘打ったゲームが爆発的に売れ、様々な世代を巻き込んでの「**老若鍛脳**」ブームとなりました。さらに、ご当地検定から専門知識の高さを競うオタク検定まで、すっかり「**検定世間**」となるなど、日本人の知識欲の高さが垣間見られます。

しかし、ずっと惑星の一つとして教えられてきた冥王星が、国際天文学連合により「**除冥処分**」となり、「今後は8惑星ですよ」と云われてもすぐには合点がいきません。

若い世代で特に話題となったのは、10月に導入された番号を変えずに携帯電話会社を乗り換えて「**自番持参**」できる“ナンバーポータビリティ制度”。今後、各社間の競争はますます激化しそうです。オタク文化もいまや定着し、今年も「萌え～」と「**萌我夢中**」の状態でした。芸能界では、セクシーで奇抜な衣装で踊り歌う倅田來未さんが「**半裸万唱**」で人気を獲得。その影響か、お尻が半分見えそうなファッションで歩く若者たちが街に溢れ、「**失敬半尻**」と世のオジサマ方は理解に苦しんでいるようです。そんな中高年に話題となったのが“メタボリックシンドローム”。何やら恐ろしげなネーミングでまさに「**太胴恐圏**」となりました。それでも、ようやく再開された米国産牛肉輸入で「**帰牛并望**」の牛丼ファンは、お店の前に長蛇の列を作りました。

盛り上がった高校野球 日本ハムは44年ぶりの日本一

今年、多くの人々に感動を与えた夏の高校野球は、早稲田実業と駒大苫小牧が37年ぶりの決勝引き分け再試合という熱闘を繰り広げました。青いハンカチで注目の的となった早実の斎藤佑樹投手が完投してチームは見事「**全国青覇**」、その「**投姿端麗**」なフォームは全国のファンを魅了しました。

プロ野球界では、様々なパフォーマンスで話題を呼んだ日本ハムの新庄剛志選手が、開幕早々の引退宣言。しかしその功績は大きく「**新庄望大**」と44年ぶりに日本一の快挙をとげ、地元北海道はまさに「**道喜乱舞**」でした。

今年は悲しい出来事が多い一年でしたが、スポーツを通じて多くの方が元気をもらい、夢を諦めないことの大切さを感じたのではないのでしょうか。

9月6日、秋篠宮家に男子がご誕生。悠仁さまとお名付けになりました。皇族男子としては41年ぶりのご誕生で「**悠王舞仁**」されることでしょう。健やかなご成長と、迎える2007年は、全ての人々に明るい笑顔があふれる一年になることを願っています。

◆◆◆ 優秀作品 10 編 ◆◆◆

(敬称略・順不同)

きよぎょうむじょう
虚業無常
(諸行無常)

一時期盛んにもてはやされた企業も上場廃止になった。

青森県・池田 毅 (53 歳)
東京都・山本 桂子 (43 歳)

ぜんこくせいはい
全国青覇
(全国制覇)

甲子園での斎藤君の青いハンカチも全国を制覇した。

京都府・吉岡 正博 (50 歳) 神奈川県・西村 嘉浩 (66 歳)
神奈川県・鈴木 正実 (49 歳)

けっかおうらい
結果王来
(結果オーライ)

WBC! いろいろあったが、やっぱり最後は王ジャパンが来た!!

長崎県・稲富 泰彦 (34 歳)

じゅうにんどういろ
住人怒色
(十人十色)

耐震強度を偽装した建物とは知らずに買った住人、怒りの色は隠せない。

北海道・土尾 里香 (43 歳) 青森県・池田 毅 (53 歳)
滋賀県・中川 容平 (15 歳)

かんむけいき
感無景気
(神武景気)

良くなった、上向き、最長記録だなんて言うけれど、ちっとも実感がない。

埼玉県・峯岸 昌芳 (50 歳)

さいしゅうだんかい
再就団塊
(最終段階)

2007年からの大量定年退職を目前に控え、団塊世代の再就職先探しも大詰めに。

東京都・山本 桂子 (43 歳)

ちゅういいちびょう
駐違一秒
(注意一秒)

駐車違反取締りが厳格化。

東京都・中村 哲也 (45 歳)

じょめいしよぶん
除冥処分
(除名処分)

冥王星が惑星から除外された。

長崎県・横山 令一 (23 歳) 山梨県・渡辺 明美 (48 歳)
青森県・池田 毅 (53 歳) 山口県・原野 秀敏 (34 歳)
新潟県・橋立 英樹 (39 歳) 神奈川県・前川 友吉 (47 歳)

ぎんばんそるまい
銀盤反舞
(大盤振舞)

思いっきり体を反らしてイナバウアー。

東京都・野本 とし夫 (55 歳)

ろうにやくたんのう
老若鍛脳
(老若男女)

日本全国、老いも若きも脳トレブーム。

京都府・前田 香織 (26 歳) 宮城県・大場 浩史 (25 歳)
福岡県・山本 研二 (23 歳)

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
器機一喝 ききいっかつ	エレベーターなどの事故が相次ぎ、製品の安全性が問われる。 北海道・山重 真一 (51歳)	危機一髪
首都拘束 しゅとこうそく	ケーブル切断による停電、鉄道ストップなどで都市機能がマヒした。 静岡県・稲葉 由紀子 (52歳)	首都高速
電子名流 でんしメール	ファイル交換ソフト・ウィニーで情報流出。 北海道・山重 真一 (51歳)	電子メール
火気現金 かきげんきん	なんと裏金を燃やしちゃいました。 東京都・野本 とし夫 (55歳)	火気厳禁
国格評本 こっかくひょうほん	こんなニッポンに物申す!『国家の品格』がベストセラーに。 京都府・吉岡 正博 (50歳)	骨格標本
当地番号 とうちばんごう	自動車のナンバープレートに新たな地域名が誕生。ご当地ナンバー。 愛知県・岡本 暁 (34歳)	通し番号
飲果応報 いんがおうほう	飲酒運転は絶対にいけません。 京都府・上原 立 (48歳) 北海道・安田 祐子 (52歳) 岡山県・天野 智徳 (31歳)	因果応報
瞬過蹴闘 しゅんかしゅうとう	サッカー・ワールドカップ、日本、決勝トーナメント進出ならず。 北海道・山重 真一 (51歳)	春夏秋冬
冠馬之労 かんばのろう	三冠馬・ディープインパクト引退表明。 北海道・山重 真一 (51歳)	汗馬之労
親子拳家 おやこけんか	ボクシング、亀田一家。 北海道・山重 真一 (51歳)	親子喧嘩
出世海渡 しゅっせかいどう	プロ野球、サッカーなどエース級になると皆、海外に行ってしまう。 静岡県・芳野 京子 (52歳)	出世街道
極労様和 ごくろうさまわ	陸上自衛隊のイラク・サマワ派遣が終了、まずは大変御苦労様でした。 平和になりますように・・・。 愛知県・古川 明夫 (58歳)	御苦労様
核禍騒揺 かつかそうよう	北朝鮮の核実験で世界中が大騒ぎし動揺した。 滋賀県・田辺 貞夫 (54歳) 東京都・西村 捷敏 (66歳)	隔靴搔痒
大偽迷文 たいぎめいぶん	メール問題で与野党が白熱した。 神奈川県・鈴木 正実 (49歳)	大義名分
獅子退陣 ししたいじん	小泉首相が任期を終えて退陣した。 徳島県・澤田 和之 (42歳) 滋賀県・小笠原 久美子 (46歳)	獅子奮迅

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
美治麗国 びじれいこく	戦後生まれの安倍首相のスローガン「美しい国、日本」。 千葉県・高橋 正幸 (56歳)	美辞麗句
晋総開店 しんそうかいてん	小泉総理に代わって、安倍晋三新総理が誕生。 京都府・吉岡 正博 (50歳)	新装開店
一期当選 いっきとうせん	初めての当選、もしかしたら一回だけの当選になるかも。 大阪府・長井 美知夫 (71歳) 東京都・中村 佳明 (58歳) 大阪府・日下部 寿昭 (50歳) 山口県・田辺 忠雄 (72歳)	一騎当千
金利少々 きんりしょうしょう	金利がちょっとだけ上昇した。 埼玉県・鈴木 博道 (45歳)	金利上昇
敵企襲来 てつきしゅうらい	敵対的買収(TOB)が頻繁に行われ、その攻防が顕著だった。 神奈川県・鈴木 正実 (49歳)	敵機襲来
知情証取 じじょうしょうしゅ	上場企業の関係者が未公表の情報を知り行う違法な証券取引。 神奈川県・大森 俊二 (73歳)	事情聴取
高利粛清 こうりしゅくせい	消費者金融の高金利が問題になり、灰色金利が廃止に。 兵庫県・村田 明穂 (43歳)	綱紀粛正
上下差憂 じょうげさゆう	上流社会と下流社会の差が、どんどん広がっている。 茨城県・酒井 一行 (29歳)	上下左右
産無人科 さんむじんか	産婦人科医が足りなくて困ります。 山梨県・米沢 百輝 (74歳) 岡山県・服部 国弘 (64歳)	産婦人科
少子恒例 しょうしこうれい	少子が「あたりまえ」の時代に入っていく。 大阪府・橋本 公佑 (66歳) 山形県・泉澤 智志 (34歳)	少子高齢
正妻決意 せいさいけつい	年金の分割を待って。 大阪府・原 隼 (68歳) 兵庫県・小池 博信 (67歳)	制裁決議
帰路整然 きろせいぜん	子どもが犠牲になる事件の多発で、集団下校が日常の風景となった。 神奈川県・星野 利佳 (41歳)	理路整然
逸修科目 いっしゅうかもく	必修せず見逃された科目。 長野県・鈴木 嶋一 (72歳)	必修科目
七難学苦 しちなんがっく	いじめ・履修不足など、学校に関する難題が多発。 神奈川県・青沼 仁 (33歳)	七難八苦
検定世間 けんていせけん	日本国中〇〇検定が大流行。 京都府・上原 立 (48歳)	検定試験

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
自番持参 じばんじさん	携帯電話のナンバーポータビリティ制度開始。 福岡県・有水 弥生 (19歳)	自画自賛
萌我夢中 もがむちゆう	「萌え～」にのめり込んで夢の中。 埼玉県・峯岸 昌芳 (50歳)	無我夢中
半裸万唱 はんらばんしょう	セクシーな衣装で“エロカッコイイ”倅田來未さんの歌が次々ヒット。 東京都・野本 とし夫 (55歳)	森羅万象
失敬半尻 しっけいはんけつ	お尻が半分出る位のズボンを履いて歩く若者たち。 神奈川県・鈴木 正俊 (61歳)	死刑判決
太胴恐困 たいどうきょうい	メタボリックシンドロームでお腹周りが大変。 福岡県・小田 健治 (47歳)	大同小異
帰牛井望 きぎゅうどんぼう	念願の米国産牛肉輸入再開で牛井が久々に帰ってきた。 岡山県・須々木 伸介 (37歳)	危急存亡
投姿端麗 とうしたんれい	「ハンカチ王子」人気、とどまるところを知らず。 京都府・吉岡 正博 (50歳)	容姿端麗
新庄望大 しんじょうぼうだい	新庄劇場、最終章。望みはでっかく日本一。 滋賀県・田辺 貞夫 (54歳) 三重県・伊藤 清次 (47歳) 京都府・東 和子 (60歳)	針小棒大
道喜乱舞 どうきらんぶ	北海道日本ハムファイターズ日本一、北海道民が揃って大喜び。 静岡県・相曾 雅晴 (58歳)	狂喜乱舞
悠王舞仁 ゆうおうまいじん	親王悠仁さまがこの世に舞い降りていらっしゃいました。 大分県・藤野 ゆり (26歳)	勇往邁進

審査員コメント

俵 万智 (歌人)

「一犬落着」という新聞の見出しがあった。徳島でレスキュー隊に救出された犬の記事である。うまいもんだなあと思った。創作四字熟語の番外入選にしたいぐらいだ。

もともとの四字熟語の意味が、影のように寄り添って、創作のほうに深みを与える作品に、魅力を感じる。「きよぎょうむじょう虚業無常」「ぜんこくせいはい全国青覇」などが、その好例だろう。

新機軸としては「けっかおうらい結果王来」がおもしろかった。50の入選作を見ていると、漢字の簡潔な伝達力を、あらためて感じさせられる。

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震偽装問題で証人喚問 ●東京地検、証取法違反で堀江社長ら4人を逮捕 ●鉄鋼世界最大手ミタル・スチール、2位のアルセロールにTOB提案 	住人怒色 (じゅうにんどいろ) 知情証取 (じじょうしょうしゅ) 敵企襲来 (てつきしゅうらい)
2	<ul style="list-style-type: none"> ●民主党の菅直人元代表、『団塊党』の活動を本格化 ●トリノ五輪女子フィギュアで荒川静香が金メダル ●格差社会を巡り衆議院予算委員会で集中審議 	再就団塊 (さいしゅうだんかい) 銀盤反舞 (ぎんばんそるまい) 上下差憂 (じょうげさゆう)
3	<ul style="list-style-type: none"> ●日銀の金融政策決定会合で量的金融緩和策の解除を決定 ●官房長官が国民にファイル交換ソフト「ウィニー」使用自粛を要請 ●WBC (ワールド・ベースボール・クラシック) で王ジャパンが世界一に ●民主党執行部が偽メール問題の責任をとり総退陣を決定 	金利少々 (きんりしょうしょう) 電子名流 (でんしめいりゅう) 結果王来 (けつかがおうらい) 大偽迷文 (たいぎめいぶん)
4	<ul style="list-style-type: none"> ●安全のためスクールバス導入検討。少子化社会対策推進専門委員会 ●粉飾決算によりライブドアの東証マザーズ上場廃止 ●日本ハムの新庄剛志選手、ヒーローインタビューの席で引退表明 	帰路整然 (きろせいぜん) 虚業無常 (きょぎょうむじょう) 新庄望大 (しんじょうぼうだい)
5	<ul style="list-style-type: none"> ●メタボリック症候群、予備軍含め1960万人。厚生省国民健康・栄養調査 ●数学者の藤原正彦著の『国家の品格』が200万部突破 ●『メイド喫茶開業マニュアル』出版 	大洞恐囲 (たいどうきょうい) 国格評本 (こっかくひょうほん) 萌我夢中 (もがむちゅう)
6	<ul style="list-style-type: none"> ●道路交通法改正で民間駐車監視員による取り締まりスタート ●出生率が1.25と過去最低を更新。東京都は初の1.00以下に ●東京港区のマンションでエレベーター誤作動事故 ●「ご当地検定」の全国連絡会が京都で開催 ●サッカーW杯で日本がブラジルに敗れ、1次リーグで敗退 ●日本産科婦人科学会が産科医師不足解消のための委員会を設置 	駐違一秒 (ちゅういいちびょう) 少子恒例 (しょうしこうれい) 器機一喝 (ききいつかつ) 検定世間 (けんていせいけん) 瞬過蹴闘 (しゅんかきゅうとう) 産無人科 (さんむじんか)
7	<ul style="list-style-type: none"> ●年金分割制度の手続きに関する省令案まとまる。厚生労働省 ●陸上自衛隊イラク派遣部隊の約600人全員の帰国完了 ●米国産牛肉の輸入を半年ぶりに再開決定 	正妻決意 (せいさいけつい) 極労様和 (ごくろうさまわ) 帰牛井望 (きぎゅうどんぼう)
8	<ul style="list-style-type: none"> ●亀田興毅が判定勝ちでWBAライトフライ級世界王者に ●クレーン船が送電線損傷。大規模停電の発生で首都圏が混乱 ●高校野球選手権大会で早稲が初優勝。37年ぶり決勝引き分け再試合 ●冥王星が太陽系惑星から除外決定。国際天文学連合 	親子拳家 (おやこけんか) 首都拘束 (しゅとこうそく) 全国青覇 (ぜんこくせいぱ) 投資端麗 (とうしたんれい) 除冥処分 (じょめいしょぶん)
9	<ul style="list-style-type: none"> ●倅田來未「4 hot wave」が8月度月間シングルランキング首位獲得 ●ベストジーニスト2006発表。一般選出部門に亀梨和也と倅田來未 ●秋篠宮妃紀子さまが男児出産。皇室での男子誕生は41年ぶり ●飲酒運転取り締まり強化週間(12~18日)4383件を摘発。警察庁発表 ●小泉首相が退陣(在職5年5ヶ月) ●安倍内閣が発足。初の戦後生まれの首相 ●安倍首相が所信表明演説。「美しい国、日本」を目指す 	半裸万唱 (はんらばんしょう) 失敬半尻 (しっけいはんけつ) 悠王舞仁 (ゆうおうまいじん) 飲果応報 (いんがおうほう) 獅子退陣 (ししたいじん) 晋総開店 (しんそうかいてん) 美治麗国 (びじれいこく)
10	<ul style="list-style-type: none"> ●北朝鮮が核実験を実施 ●自動車の「ご当地ナンバー」交付が全国17地域でスタート ●三冠馬ディープリンパクトの引退を表明 ●携帯電話の番号ポータビリティ制度がスタート ●高校での必修科目の未履修問題判明。 ●安倍首相、いじめ問題を教育再生会議の重要問題とする旨表明 ●北海道日本ハムファイターズが44年ぶり2度目の日本一に ●出資法の上限金利引下げでグレーゾーン金利廃止へ。閣議決定 	核禍騒揺 (かつかそうよう) 当地番号 (とうちばんごう) 冠馬之労 (かんばのろう) 自番持参 (じばんじさん) 逸修科目 (いっしゅうかもく) 七難学苦 (しちなんがく) 道喜乱舞 (どうきらんぶ) 高利肅清 (こうりしゅくせい)
11	<ul style="list-style-type: none"> ●松坂大輔の独占交渉権を60億円でレッドソックス獲得。西武発表 ●景気拡大が戦後最長の4年10ヶ月に。月例経済報告 ●安倍首相、全国知事会議で不祥事について批判 ●郵政造反組12人全員が自民党に復党願を提出 ●消費者が選ぶ今年の商品1位に「脳トレーニング関連」。電通調査 	出世海渡 (しゅつせかいどう) 感無景気 (かんむけいき) 火気現金 (かきげんきん) 一期当選 (いっきとうせん) 老若鍛脳 (ろうにやくたんのう)